

これまでの  
目標

東京2020大会に出場する都が発掘・育成・強化したアスリート(オリンピック選手):100名

※「東京都スポーツ推進総合計画」・・・計画期間:2018年度から2024年度までの7年間 達成指標:2020年:100名、**2024年:成果等を踏まえ検討**

【方向性】

- 東京2020大会に向けて構築した競技力向上施策の体系を大会のレガシーとして活用し、引き続き、アスリートの競技力を向上
- **アスリートが地元や地域に応援され、また都のスポーツ推進に貢献できるよう、活躍する場を創出**

新たな目標

東京のアスリートの競技力を高め、アスリートの経験を地域に還元し、**スポーツの裾野拡大**や**世界最高水準のスポーツ実施率**につなげる

現行の施策体系と実績

日本代表候補選手の強化

東京アスリート認定選手(オリ競技)への海外遠征費等を支援(計1,034名)

東京都代表選手の強化

- ①競技団体に対する強化合宿等を支援(延べ34,233名)
- ②都代表選手に対するスポーツ医・科学サポートによる支援(8競技 計365名)

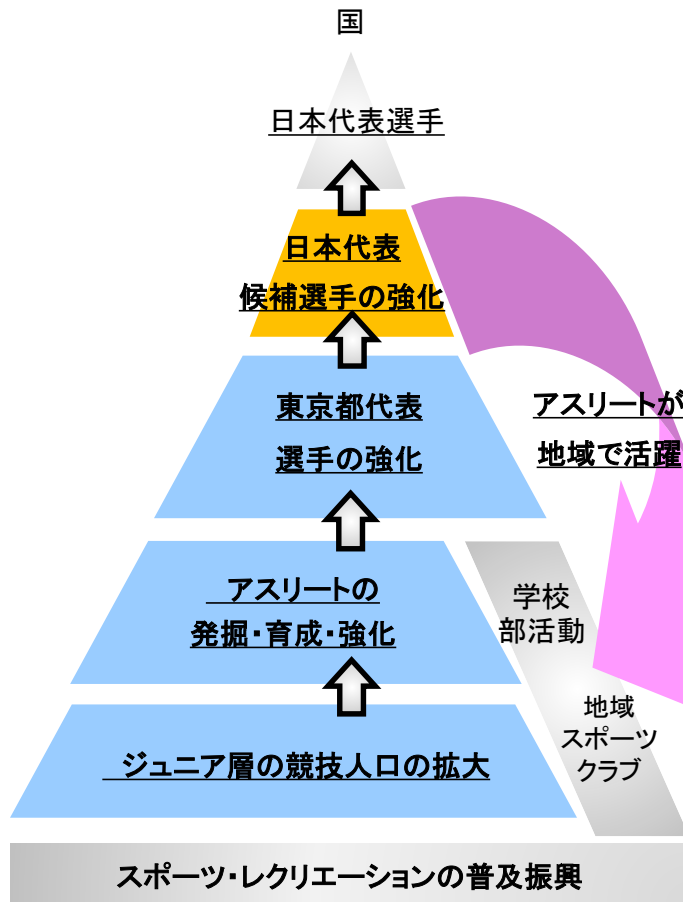
アスリートの発掘・育成・強化

才能のある中学生を発掘・育成・強化(7競技 計254名)

ジュニア層の競技人口の拡大

スポーツ教室等を支援し、ジュニア層が競技スポーツを実践(延べ310,834名)

※数値は2016年～2020年までの実績



※競技団体等へのスポーツ・インテグリティを推進する施策は拡充

新体系と主な内容

アスリートが地域で活躍

東京で育ったアスリートが地域で活躍できるよう、場の創出につながる取組を実施

日本代表候補選手の強化

より多くの国際大会で活躍できるよう対象競技を増やす一方、効率化を図るなど、内容や方法を見直して実施

東京都代表選手の強化

- ①高めた競技力を維持するための支援は継続しつつ、一部の事業では内容をメニュー化するなど、内容や方法を見直して実施
- ②都代表選手のパフォーマンス向上につなげるため、スポーツ医・科学による支援は、成果を踏まえ、今後見直し

アスリートの発掘・育成・強化

成果を踏まえ、新たな需要に対応するよう、今後見直し

ジュニア層の競技人口の拡大

より多くのジュニア層が競技スポーツを実践する取組を継続